

平成31年1月

なばり市議会だより

No. 91

市議会の動きをコンパクトにまとめてお伝えします。今号は 6月 9月 12月 3月 の定例会をクローズアップ

編集/議会広報特別委員会 発行/名張市議会 ● 三重県名張市鴻之台1-1 ☎ 63-7834 ☎ 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.mie.jp



川合滋議長・阪本忠幸副議長が 新春記者会見で抱負を語る

議会改革特別委員会において活発な議論を展開中

川合滋議長・阪本忠幸副議長は1月8日に行われた新春記者会見において、議員定数を2人減らし18人の新体制となったことから、これまで以上に市民の皆さまの多様な意見を市政に反映させる責務を負うため、全議員の資質向上を図り、議員力・議会力を高めていくと抱負を述べました。

また、将来にわたって持続可能な行財政運営の基盤の確立に向けて、議会機能を強化し、より厳しい目で行政の動向をチェックするとともに、市民の皆さまの意見を反映させた施策の立案や提言を行っていきたくと語りました。

さらに川合滋議長は、議会改革特別委員会にて活発な議論を行っている「長期欠席議員の報酬削減」などの他に、「議員報酬の自主削減・政務活動費の使途の条理化」や、「議会報告会のあり方および実施方法」、「災害時の議会行動マニュアルの策定」などについても今後検討していきたいとの考えを示しました。

名張市議会では、これからも開かれた議会を目指すとともに、市民の皆さまから信頼と共感を得られるよう、議員の資質向上に取り組んでまいりますので、なお一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



名張市議会議長
川合 滋

新年のごあいさつ

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より、名張市議会に対し格別のご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年8月の市議会議員選挙では定数を2人削減し、18人の議員を選んいただきました。その後、新体制のもとで「議会改革にゴールなし」を合言葉に、「議会の自主解散による市長選挙と市議会議員選挙の同日実

施」、「長期欠席議員の報酬削減」、「議員報酬や政務活動費のあり方」などについて、議会内で議論をしているところでございます。

議会は、市政の監視機関である事はもちろんですが、「車の両輪の如く」と表現されるよう、市政発展の一翼を担っています。市民の皆さまが、住み続けたいまちであり続けるため全力で取り組んでまいります。今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆さまのご健勝を祈念して年始のご挨拶といたします。

平成30年12月定例会

12月定例会(第383回)は、12月4日開会、12月20日閉会の17日間の日程で行いました。

提出された議案は条例改正4件、一般議案3件、平成30年度一般会計・特別会計の補正予算4件、人事案件1件の計12議案で、これらの議案は本会議・常任委員会で審議し、12議案を可決・同意しました。3日間の一般質問では9議員が登壇し市政全般にわたる質問を行いました。

補正予算

補正予算は、一般会計で3億7020万4千円の増額補正を行い、増額後の平成30年度一般会計予算総額は273億990万2千円となりました。国民健康保険特別会計では1億3861万5千円の増額、介護保険特別会計では893万9千円の増額、後期高齢者医療特別会計では122万5千円の増額となりました。



Q & A

9議員の質問と、市長などの答弁をご紹介します(一部抜粋)。掲載内容は議員から提出された原文を尊重して、編集しています。

一般質問

● 防災・行政

喜働

足立 淑絵 議員



Q 職員の民間企業研修

人事院では、行政の能率的な運営のため、国と民間企業との人事交流を推進している。職員を民間企業に派遣することで行政課題に柔軟かつ的確に対応するために必要な知識および能力を有する人材の育成を図ることができるとしている。現在、各県や各市で取り組みが進められているが、本市の民間企業研修の実績と今後の予定は。

A 柔軟に対応していく

現在は実施していないが、過去にはNTT西日本(通信技術習得)、トヨタ自動車本社(危機管理対策)、法律事務所(法律相談、訴訟対応のための実務経験)に派遣した。今後、知恵を出し変化に対応できる元気の職員をどのように育てていくか、テーマや手法は柔軟に対応し検討していく。

公明党

細矢 一宏 議員

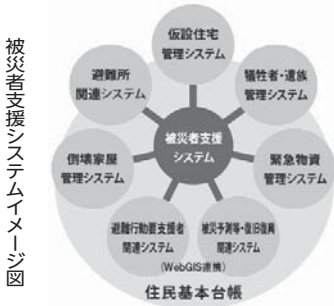


Q 被災者支援システム

被災時における生活再建の要は罹災証明の早期発行であることは、これまでの大災害により明らかである。罹災証明の早期発行に寄与する被災者支援システムについては、県内22団体で導入済となっている。議会でもこれまで3度にわたり要望し導入に向けた回答も得ているが、本市は導入に至っていない。市の考えを問う。

A 安価に導入を検討中

被災者支援システムの有用性は理解している。これまで情報収集を継続的に行っており、安価に導入するため前向きに検討を行っている。



公明党

富田 真由美 議員



Q 防災・減災の充実

全国で自然災害が多発していることを踏まえ、防災・減災のさらなる取り組みが必要である。災害時には早期の避難が大切とされているが、自力で避難できない要支援者への手だてをどのように確保していくか、事前の避難方法を想定した計画が必要だ。また、観光客の危機管理やペットを守る対策も進めるべきだ。

A 早急に取り組む



市では避難計画を実効性のあるものとするため要支援者名簿の作成とともに個別の計画が必要とし、各地域で計画策定するためのマニュアルを早急に作成する。また、今年度ベトナム同行の避難者の研修を行った。外国人観光客に対しては多言語での防災はつとメールの発信を検討する。

自由クラブ

山下 登 議員



Q 活性化の財源確保を

観光や農業による収入は、税収増につながる。本市の活性化対策の財源は、ふるさと納税に加え、クラウドファンディング(※)の活用をのぞむ。

A あらゆる方策を研究

観光地域の活性化は、住民自らが自然・歴史・伝統・文化・人材など、あらゆる地域資源を活用するとともに、地域の皆さんがさまざまな施設を拠点にした農業や移住などの体験プログラムを企画し、誘客や交流を図る観光地域活性化の取組支援を考えている。国や県のさまざまな補助メニューの活用に加えクラウドファンディングなど、あらゆる方策を研究し財源確保に努めていく。

(※)クラウドファンディング インターネット経由で不特定多数の人から資金調達を行うこと

産業・建設

地域資源を生かして

三原 淳子 議員



長野県飯田市では、地域ま
ちづくり組織と行政の協働
で、再生可能エネルギー活
用事業を実施し、太陽光発
電による電力の確保と売電
で財源を生み出し、地域住
民が主体的にまちづくりに
生かしている。福岡県みや
ま市では、自治体が新電力
を設立し、収益で地域の課
題解決の財源にしている。
本市でもそれらを生かし、
住民に還元するしくみの構
築を求める。

先進事例を研究する

恵まれた自然環境を生かし
た、再生可能エネルギーの
導入により自然と調和した
低炭素社会の構築を目指す
「第3次なばり快適環境プ
ラ」を平成29年に策定した。
本市でも、みやま市の先進
事例を研究する。



清風クラブ

坂本直司 議員



隣居・近居に助成を

移住定住促進のためには、
不特定多数の人に呼びかけ
るよりも、名張で生まれ育
った人にターゲットを絞り、
Uターンを促すほうが効果
的である。そのために、他
の自治体で実施されている
親世帯との同居・隣居・近
居のための引越しや、リフ
ォーム費用を助成する制度
を導入してはどうか。

他市町の成果調査中

同居や近居などの支援につ
いては、全国で取り組んでい
る自治体がある。現在、こ
れらの取り組みによる成果
などを調査し、検討してい
るところである。11月、地
域活力創生室において、三
重労働局へ無料職業紹介事
業の届け出を行い、移住希
望者への求人情報提供、就
職先のマッチングなど、ワ
ンストップの支援充実を進
めている。

清風クラブ

森岡秀之 議員



名張川の引提事業

12月の全員協議会で引提事
業について初めて説明があ
った。5月に木津川上流河
川事務所を訪問するととも
に、地域住民の意見を伺っ
た。あらためて事業内容の
進捗と計画を確認する。



国交省が計画実施

名張川の河川改修は、平成21
年3月に国土交通省が策定し
た「淀川水系河川整備計画」
により、引提や河道掘削によ
る流下能力の確保を図るた
め、27年度より、下流域の薦
生、松原町、朝日町、南町地
内において河道掘削を実施。
引提事業については、左岸黒
田地区の黒田大橋下流から大
谷の山裾までの延長約1km、
引提幅が最大で70mで、これ
に伴う橋の整備として黒田大
橋の架け替え、名張大橋の継
ぎ足し工事を実施する。

医療・子育て

脳と心臓の救急は

柏元三 議員



再度お尋ねするが、市立病
院に入院し、退院した患者
さんの救急受け入れに関し
市長と市立病院の説明が食
い違っている。市長は「在
宅医療救急システムの下で
受け入れている」と言い、
副院長は「できないからや
つていない」と発言。どち
らの言い分が正しいのか。
あつてはならない食い違い
が生じる原因は何か。

医師の判断による

在宅医療救急システムに
ついて、誤解の無いよう
にだが、入院された人を
在宅に送り出す時に、受
け入れてくれる病院の医
師と打ち合わせをしてお
く。よって、その患者さ
んの救急について基本に
なるのは、受け入れた医
師の判断による。

心風会

荊原広樹 議員



保育無償化の概算額

2019年10月より、消費
増税のタイミングで、幼児
保育料の無償化が国会で決
定した。当初は全額国費で
賄うということで進められ
ていたが、地方にも負担を
求められることとなった。
その場合の本市での負担額
は概算でいくらになるか。

2〜3億円の負担

無償化に必要となる約
8千億円のうち、約4千億
円が国、残り約4千億円を
県と市で負担する。この場
合、本市では2〜3億円の
負担となる見通し。全額を
国費で賄うと聞いていたの
で納得はできない。全国市
長会で負担を減らすよう訴
えかけていく。



「議会録画中継」はテレビ・パソコン・スマホからご覧いただけます!

各定例会の開会から閉会まで、本会議の全日程がCATV(アドバンスコープ 203ch)
で生中継されています。生中継を見られなかった人も、インターネットで録画配信をご覧
いただけます(おおむね1週間後の配信)。

議会録画中継をご覧いただくには、名張市議会ホームページ(市ホーム
ページから名張市議会をクリック)の議会録画中継ボタンをクリックして
いただくか、右のQRコードを読み取りください。



議会
録画中継



第383回定例会 審議結果

全会一致
議案

▼市長の選挙におけるピラの作成の公営に関する条例の一部改正▼総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正▼公の施設の指定管理者の指定(総合福祉センターふれあい)▼公の施設の指定管理者の指定(老人福祉センター「ふれあい」)▼公の施設の指定管理者の指定(市営住宅等)▼平成30年度一般会計補正予算(第3号)▼平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)▼平成30年度介護保険特別会計補正予算(第3号)▼平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)▼一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正▼職員の給与に関する条例の一部改正▼公平委員会委員の選任同意

議会改革 ing

◎ 政務活動費の収支報告書および領収書をホームページで公開しています

平成30年4月～8月分の収支報告書および領収書の写しをホームページで公開しています。また、庁舎1階の行政情報閲覧スペースでは、収支報告書及び領収書の写しのほかに、各会派の視察報告書、各委員会の行政視察報告書が閲覧できます。

◎ 平成28～30年度 行政視察の受け入れ状況

名張市議会では、全国の自治体議会からの行政視察を積極的に受け入れています。平成28年4月から30年12月末時点で名張市に行政視察で訪れた自治体議会数は50団体。計335人の議員や職員の皆さまに名張市の先進事例を学んでいただきました。

多かった視察テーマは「ゆめづくり地域予算制度」関連が18件、「名張版ネウボラ・地域福祉教育総合支援システム・地域包括ケアシステム」関連は9件となりました。今後も、積極的な受け入れを行ってまいります。

■ 第11回議場コンサート

第11回議場コンサートを12月11日に開催しました。

今回は、混声ボーカルユニットの「kumi × Yuhki ～くみゆうき～」さんが出演。2人の柔らかく優しい歌声で議場は華やかなコンサートとなりました。

コンサート終了後も引き続き多くの皆さまに一般質問を傍聴していただきました。



名張市議会 News

■ 教育民生委員会が保育現場の視察を行いました

視察目的 ぱりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト
視察先 赤目保育所 視察日 平成30年11月20日

教育民生委員会では、子どもたちが就学前段階から学校教育にスムーズに移行することができるよう取り組みを進めている本市の「ぱりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト」を調査するため、赤目保育所を視察しました。

ピカ1先生(教職員OB)による出前授業で年間4回のプログラムのうち、視察時は3回目のテーマ「ことば遊び」をリズムに合わせて行い、絵本やゲームなど楽しく活発に学んでいました。

また、小学校生活になじめるよう、始まりと終わりはチャイムを鳴らし、ピカ1先生による授業を体験することで、普段の保育時間との違いから小1ギャップを緩和し円滑な移行につながると感じました。

幼稚園・保育所(園)・認定こども園の保育士と小学校の教諭との連携、情報共有なども深まることから、今後も継続するべきだと感じました。



■ 年末特別警戒の巡視を行いました

市民の皆様が安心して新年を迎えられるよう、市長、副市長、三重県議会議員とともに、川合 滋議長と幸松 孝太郎総務企画委員長が年末特別警戒を実施。12月29日、30日の2日間で市内を巡回し、防犯と火の用心を呼びかけました。



議会の日程

※予定を変更する場合があります。

開会時間は午前10時からです。ぜひ、傍聴にお越しください。全ての本会議(委員会を除く)がCATVで生中継されます。

3月 1日(金) 開会	13日(水) 予算特別委員会(総務企画)
6日(水) 一般質問	14日(木) 予算特別委員会(教育民生)
7日(木) 一般質問	15日(金) 予算特別委員会(産業建設)
8日(金) 一般質問	18日(月) 総務企画委員会
11日(月) 補正予算	19日(火) 教育民生委員会
12日(火) 当初予算	20日(水) 産業建設委員会
	26日(火) 採決

次回の議場コンサートのお知らせ

次回の議場コンサートは、コーラスグループ「オレンジヴォイス」さんの出演を予定しています。詳細は、市ホームページや市議会フェイスブックにてお知らせします。



日時 3月6日(水) 午前9時10分～40分(午前9時開場)
場所 名張市議会議場3階傍聴席 ◎入場無料。申込不要

聴覚に障害のある人も手話通訳などを介して本会議を傍聴していただけます。

手話通訳をご希望の場合7日前までに、ヒアリングループ装置の利用をご希望の場合3日前までに議会事務局にご相談ください。



市議会の情報はホームページやフェイスブックでも

名張市議会に関する情報を随時掲載。ぜひ、ご覧ください。
ホームページ <http://www.city.nabari.lg.jp/110/index.html>
フェイスブック <https://www.facebook.com/nabarishigikai>



市議会HP

ご意見・ご要望をお待ちしています

議会広報特別委員会(議会事務局) ☎63-7834